北海道富良野緑峰高等学校の行動計画(グローカル・アグリハイスクール宣言 PartⅡ)

北海坦昌及野緑峰尚寺子や 全国の農業高校の行動計画		交の行動計画(グローカル・アグリハイスクール宣言 PartⅡ) 学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローカル教育で人材 を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを 一層輝かせ成長させ る教育」を行いま す。	(1) 日本農業技術検定3級合格の100%を 目指す。 (2) アグリマイスターシルバー取得の 50%を目指す。	(1)3級の受検結果が約52%であった。 (2)3年生で約65%取得することができた。	日本農業技術検定につ いては,引き続き受験 対策をし,農業の基礎	4
	2 「世界と日本をつな ぐグローカル教育」 を行います。	(3)3年生の進路決定率100%を目指す。 (1)世界の農業情勢について理解を深める授業を各学年2時間以上実施する。		を実施はできたが、定	5
II 地域社会・産業 に寄与する学校	3 「地域農業の生産を 支える教育」を行い ます。	授業を2学年、3学年それぞれ4時間以			5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄 与する教育」を行います。	(1)近隣の先進農家や先進的な農業関連 産業に携わる方の講演会を1回以上実施 する。	2学年対象であったが, 今年は1・2年を対象に実	域の農業が果たす役割 の大きさと素晴らしさ	5
III 地球環境 を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、 創造する教育」を行 います。	(1) SDG'sに関する学習を各学年2時間以上実施する。 (2) 農薬、肥料などの適切な施用を基準に従って確実に実施する。	(2)施用基準に基づき実施。	SDG'sについては授業で 実践したが、農薬、肥 料についてはもちろん。 うことはもちろんを環 境に配慮した施用を確 実に実践習で実践する 生徒の実習で実践する座 学などで定着させる。	3
		(1)5つある専攻班において地域課題の解決や地域の資源を活用したプロジェクト学習を100%実践する。	域の農産物や地域課題を テーマに100%実施。		5
IV 地域交流 の拠点となる 学校	7 「Society5.0の時代 に応じた教育」を行 います。	(1)農業科目においてICTを活用した授業を100%実施する。 (2)農業クラブ行事やイベントにおいて確実にICTを活用し、知識や技術を進化させる。	実施できた。 (2) 行事やイベントに活 用し,生徒のITCに関す る知識や技術を高めるこ	いてBYODとなるため確 実に実践する必要があ る。授業はもちろん, アンケートや連絡事項	4
V 地域防災 を推進する学 校	8 「地域防災を推進する教育」を行いま す。	(1)農業教育において地域の過去の災害 について触れる授業を各学年1時間以上 実施する	た。		4